

環境影響評価項目の選定

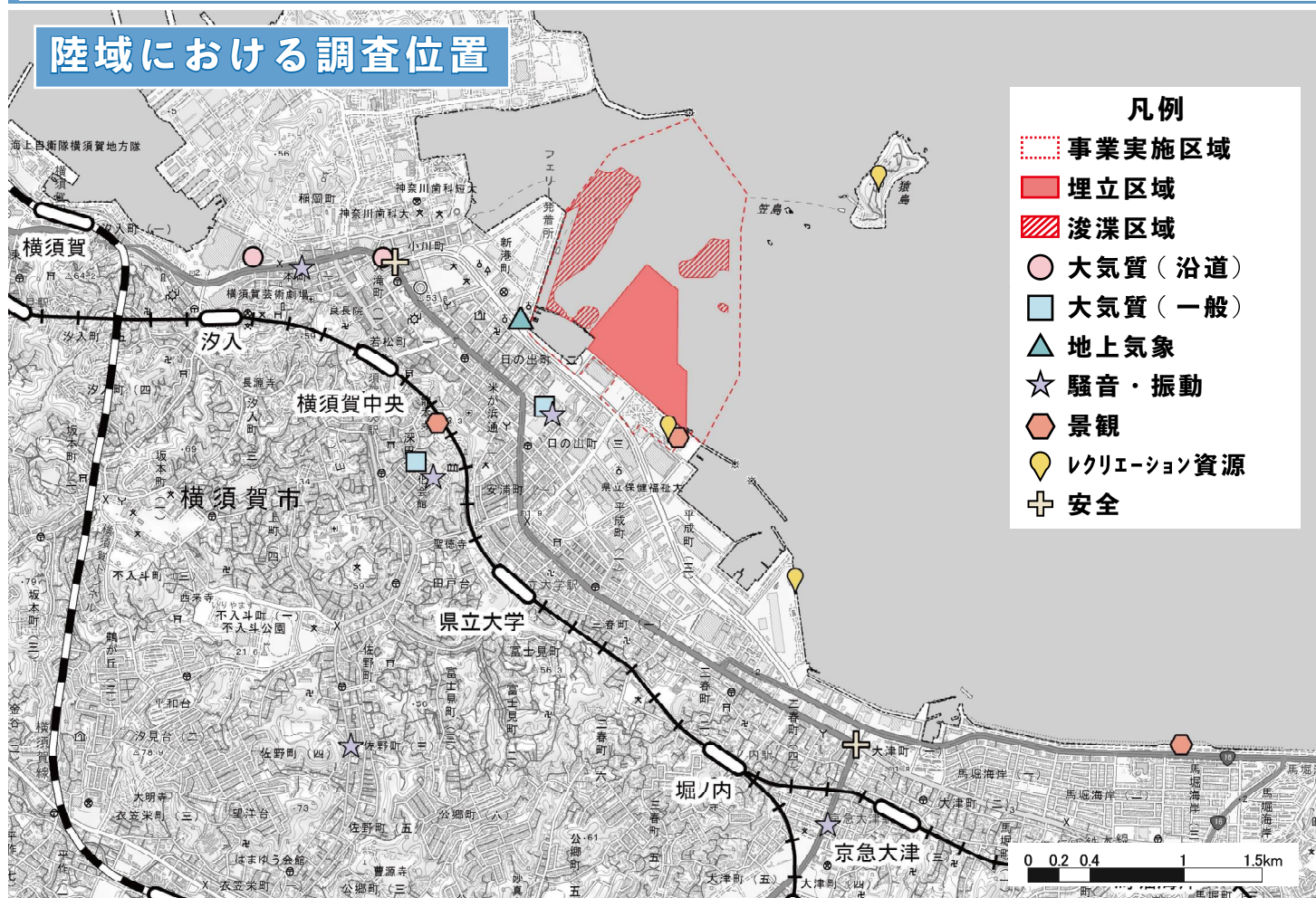
環境影響評価の項目については、事業内容等を踏まえて、次のとおり選定しました。

評価項目	評価細目		工事中			供用開始後		
			注 工事 護岸 の	工事 埋立 の	走車 行両 工事 の用	の埋 存在 地	の施 稼設 港湾	の車 走行 施設 関連
大気汚染	大気 汚染	二酸化硫黄					●	
		窒素酸化物	●	●	●		●	●
		浮遊粒子状物質	●	●	●		●	●
		粉じん等		●	●			
水質汚濁	水質汚濁		●	●		●		
土壌汚染	土壌汚染							
騒音・低周波音	騒音		●	●	●			●
	低周波音							
振動	振動		●	●	●			●
地盤沈下	地盤沈下							
悪臭	悪臭							
廃棄物・発生土	廃棄物		●					
	発生土		●					
電波障害	テレビジョン電波障害							
日照阻害	日照阻害							
反射光	反射光							
気象	気象							
水象	河川							
	地下水							
	海域					●		
地象	傾斜地							
	地形・地質							
動物・植物・生態系	植物							
	動物		●	●	●			
	水生生物（海生生物）		●	●		●		
	生態系（海生生物）		●	●		●		
文化財	文化財							
景観	景観					●		
レクリエーション資源	レクリエーション資源		●	●	●	●	●	●
温室効果ガス	温室効果ガス		●	●	●		●	●
地域分断	地域分断							
安全	危険物等							
	交通				●			●

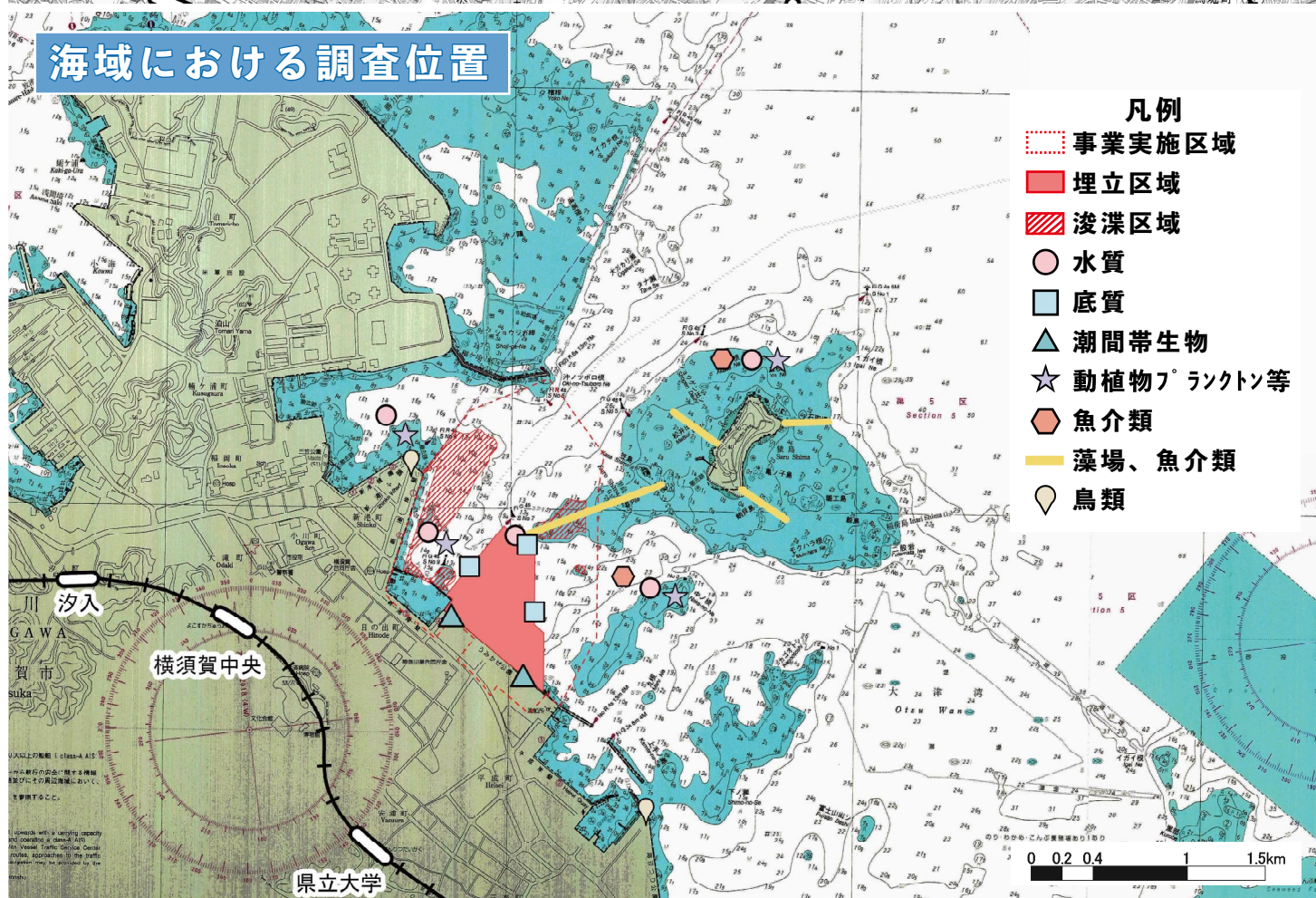
注：「護岸の工事」では、事業実施区域内の泊地浚渫工事や基盤整備工事なども含めて予測・評価を行います。

調査位置図

陸域における調査位置



海域における調査位置



調査・予測の手法

環境影響評価項目ごとの調査・予測手法の概要は次のとおりです。

調査地点は、環境影響評価の項目ごとに、予測・評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点を設定しています。

環境要素		調査の手法	予測の手法
大気汚染	気象、二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質	大気汚染物質の濃度や気象（風向、風速、日射量、放射収支量）の把握	大気質の拡散モデルによる拡散式（プルーム式及びパフ式）を用いて年平均値を予測
	粉じん等	粉じん等の把握	事例の引用又は解析により得られた経験式を用いて、季節別降下ばいじん量を予測
水質汚濁	水質汚濁	水質や底質の把握	濁り分布解析、低次生態系モデルによる予測、事例の解析による予測
騒音	騒音	道路交通騒音や通過交通量等の把握	音の伝搬理論式等に基づく予測式を用いて騒音レベルを予測
振動	振動	道路交通振動や地盤状況の把握	事例の引用又は解析により得られた経験式等を用いて、振動レベルを予測
廃棄物・発生土	廃棄物	建設副産物の発生状況等の整理	調査等に基づいた定量的な予測
	発生土	発生土の発生状況等の整理	調査等に基づいた定量的な予測
水象	水象（海域）	既往調査データの整理	多層レベルモデルによる潮流解析
植物・動物・生態系	海生生物、鳥類、生態系	海生生物や藻場の把握 鳥類の飛来状況の把握	濁り予測結果、水質予測結果等を踏まえ、海生生物や鳥類、生態系への影響を定性的に予測
景観	眺望景観	眺望点からの写真撮影等	フォトモンタージュ法等による視覚的な表現方法
レクリエーション資源	レクリエーション資源	工事計画やレクリエーション資源の利用状況等の整理	調査結果等に基づく定性的な予測
温室効果ガス	温室効果ガス	工事計画等の整理	調査結果等から二酸化炭素発生量を予測
安全	交通	方向別交通量等の把握	調査結果等から飽和交通量を予測

評価の手法

環境影響評価項目の評価手法は次のとおりです。

①国又は地方公共団体による基準又は目標との整合性に係る評価

国又は地方公共団体による環境保全の観点からの施策によって、環境影響評価項目に係る環境要素に関して基準又は目標が示されている場合には、当該基準又は目標と調査及び予測の結果との間に整合が図られているかどうかを評価します。

②環境影響の回避又は低減に係る評価

事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減され、若しくはその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかを評価します。

実施計画書の縦覧について

実施計画書の縦覧場所

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ● 横須賀市市政情報コーナー | / 横須賀市役所 2 号館 1 階 |
| ● 神奈川県環境課（環境影響審査グループ） | / 神奈川県庁新庁舎 4 階 |
| ● 神奈川県情報公開広聴課横浜駐在事務所 | / かながわ県民センター 2 階 |
| ● 神奈川県情報公開広聴課川崎駐在事務所 | / 川崎県民センター東館 2 階 |
| ● 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター | / 横須賀合同庁舎 3 階 環境部環境課 |
| ● 神奈川県県央地域県政総合センター | / 厚木合同庁舎 1 号館 3 階 環境部環境保全課 |
| ● 神奈川県湘南地域県政総合センター | / 平塚合同庁舎 2 階 環境部環境調整課 |
| ● 神奈川県県西地域県政総合センター | / 小田原合同庁舎 3 階 環境部環境保全課 |

実施計画書の縦覧期間

令和 7 年 1 月 31 日（金）～ 3 月 3 日（月） 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土日祝日を除く）

実施計画書のインターネットによる公表

- 横須賀市 港湾部 港湾整備課ホームページ
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5830/assessment.html>



QRコード

実施計画書説明会の開催場所及び日時

説明会開催場所：ヴェルクよこすか 6 階ホール

【1 回目】

令和 7 年 2 月 23 日（日） 18：00～20：00

【2 回目】

令和 7 年 2 月 25 日（火） 19：00～21：00

※1 回目、2 回目とも同じ内容ですので、
ご都合のよい時間にご参加下さい。
お車でご来場される場合は、市役所北口駐
車所をご利用下さい。（説明会の時間は無料
処理します）



意見書の提出について

実施計画書に対し、環境保全上の見地からの意見のある方は意見書を提出できます。

- (1) 提出方法：郵送又は持参
- (2) 意見書（様式）：縦覧場所にて配布
（様式によらずとも、(5)にある記載事項をもれなく記載すれば任意の用紙でもかまいません）
- (3) 提出期限：令和 7 年 3 月 3 日（月）まで（必着）
- (4) 提出先：〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1 神奈川県環境農政局環境部環境課
- (5) 意見書の記載事項（以下のア～ウは必ず記載してください。）
 - ア 意見書を提出しようとする者の氏名及び住所
（法人その他の団体にあつてはその名称、代表者の氏名及び事務所の所在地）
 - イ 対象事業の名称
 - ウ 実施計画書についての環境保全上の見地からの意見

ご質問・お問合わせ先

横須賀市 港湾部 港湾整備課 〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町 11 番地
TEL：046-822-9966 FAX：046-826-3210